

笹間・太田支店  
共済課

おだしま  
小田島 ひな

太田出身なので、日々地元の組合員さんのために働くことができてうれしく思っています♪ 窓口ではコミュニケーションを大切に、丁寧な聞き取りによってお一人お一人に寄り添った対応を心掛けています。日に日に寒くなってきた、冬はもう目の前です！ 事故が増える時期なので、お気を付けてお過ごしください。共済のことで気になることがありましたら、一人で迷わずご相談くださいね♪



## ぼらの 広場

ぼらの広場は、読者の皆さまとの交流の場です。皆さまからテーマにちなんだお便りを募集し、紹介しています。

今月のテーマ

### 「思い出の一曲」

投稿を頂いた方の中から  
抽選で、今月は  
賢治りんご  
をプレゼント！

ほのぼのとした歌詞と旅情を掻き立てるメロディーの「遠野物語」は名曲ですね。遠野に行きたくなりませんか？(遠野市・カップのつぶやき)

**ちば** 切ない歌詞とメロディーに郷愁を感じます。やり直したい「あの頃」ってありますよね～(涙)

「北国の春」私が東京に就職したときに職場の仲間と飲みに行って歌いました。懐かしいです。(北上市・北上の鳥さん)

**せがわ** 故郷への思いが感じられる一曲ですね。地元の風景が目に見えそうです。

井上陽水さんの「心もよう」です。お小遣いを貯めて初めて購入したレコードです。(北上市・サフィニア)

**せがわ** 初めて自分のお金で買った曲は思い出深いですね。私も初めて買ったCDのことを思い出しました。

中学生の誕生日にウォークマンを買ってもらい、お小遣いで初めてCDを買いました。その時の曲がMr.Childrenの「innocent world」です。(京都府・サラダ)

**ちば** ピカピカのウォークマンからあの清涼感のあるイントロが流れた時の感動が伝わってきます♪

「星影のワルツ」です。57年前、音楽の時間に「とてもいい歌があるから」と先生が教えてくれました。その後大ヒットした曲でした。(花巻市・みっちゃん)

**ちば** 悲しいけれど同時に深い優しさを感じる一曲ですね。時代を超えた名曲だと感じます！

山根康広さんの「Yellを君に」です。遠野でライブがありドキドキ、感動、パワーをもらいました。今でも思い出します。(遠野市・お日様大好き)

**せがわ** 身も心も元気になるライブ最高ですね！ やっぱり生で聴くと迫力も違いますよね。

来月のテーマ1月号掲載「2026年の抱負」応募締切/12月10日(水) 消印有効

テーマにちなんだエピソードを募集します。

2026年はどんな年にしたいですか？ あなたの抱負を教えてください。

応募方法：①テーマにちなんだお話 ②郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号 ③ペンネーム ④JAや広報誌に関するご意見・ご感想を記入の上、はがきまたはメールにて応募ください。

右記のQRコードからのご応募もできます。

※投稿頂いた中から内容を誌面に掲載させていただきます。ペンネームが無い場合はイニシャルでの掲載になります。

●はがき：〒025-8504 花巻市野田 316-1 JAいわて花巻企画課「ぼらの広場」宛  
●メール：polano@jahanamaki.or.jp  
●当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

5名様にプレゼント！

銀河のしずく



JAいわて花巻  
応募フォーム

<https://www.jahanamaki.or.jp/entry/index.php>

## かがやく 女性部

### 地域の農業への理解深める 水耕栽培施設を見学

JAの女性部サークル「宮野目女性塾」は10月10日、株式会社耕野(花巻市太田)で野菜の水耕栽培を学ぶ見学会を開きました。

今回の見学会は同サークル活動の一環で、水耕栽培に関心を持ったメンバーが発案し、実際に栽培の様子を見学することで地域農業への理解を深めようと企画されました。

同日はサークルメンバーなど17人が参加し、同社の安藤誠二代表の案内で施設を回り水耕栽培の仕組みを学びました。同社では4棟の温室



栽培の説明をする安藤代表(左)と説明を聞くサークルメンバーたち

ハウスでサンチュやミツバ、ベビーリーフなどを栽培し飲食店や商業施設などに販売しています。ハウスを見学し、かん水装



精力的に活動するサークルメンバーたちと株式会社耕野の安藤代表(前列左から3人目)

置や作物の生育状況、作業員の収穫の様子などを見学したメンバーたちは、栽培規模や設備に感心しながら説明に耳を傾けていました。

同サークルの高橋美紀子代表は「実際に見ることで話だけではわからない体験ができた」と振り返りました。

## カバーストーリー～表紙の紹介～

今月は  
リンゴ



生産者

JAいわて花巻果樹部会  
若手りんご生産者グループ会長

おぼろ 忍さん(花巻市東和町)

JA管内ではリンゴの出荷が最盛期を迎えています。今回ご紹介するのは、JAいわて花巻果樹部会若手りんご生産者グループの会長を務めている小原忍さんです。就農して13年目。現在は4.5haの園地で8月から12月にかけて旬のリンゴを25種類ほど栽培しています。

農作業の傍ら若手りんご生産者グループとして管内の小学校での食育活動のほか、「気軽に相談できる場を作りたい」と新規就農者や若い農業者の仲間作り活動にも積極的に取り組んでいます。

今年の生育は順調とのこと。標高が高い園地の特性も相まった朝晩の寒暖差により色づきも増しているそうです。小原さんは栽培方法の研究に余念があ

りません。先輩農家や県外の視察研修から学んだことを取り入れ、その年によって変わる天候に合わせた栽培管理を実践しています。徹底した品質へのこだわりを追求する小原さんのおすすめの食べ方は生。「皮ごと食べて品種ごとの味の違いを楽しんでもらいたい」と話しました。



「ふじ」の収穫は11月上旬から始まります。